

2023 年度まさこ基金助成審査会報告

日時：2023 年 6 月 7 日（木）21 時 00 分～22 時 02 分

方法：Zoom によるオンライン開催

出席：土井、岩岸、大阿久、友沢、橋本、尾崎、栗岡、
田淵（第三者委員）、青木（オブザーバー・事務局）

2023 年度の応募者および事業名は、以下のとおり。

No.	氏名	年齢	事業名称
1	大矢 幸慧	25	加熱式タバコを含めた喫煙、受動喫煙に起因する口腔内所見と歯肉血流に関する研究
2	紅谷 歩	39	タバコ吸い殻の不法投棄問題についての千葉県での取り組み
3	矢田部尚子	35	歯科衛生士を目指す学生における加熱式タバコの意識と喫煙受容度に関する研究

協議事項

1) 助成対象者としての適格性

応募者の年齢は 39 歳以下で助成対象の条件を満たしている。内容については、事業 1、3 はタバココントロールに関わる研究・活動であるので、助成対象として適当である。事業 2 についてはタバコフリー活動としての取り組みの視点や関係団体との事前協議や協働を明確にしたうえで助成が望ましいとの意見があった。申請書の内容および方法については倫理的・論理的問題はないと思われる。事業 1、3 については所属機関の倫理委員会の承認を受けていることを確認した。

2) 事業内容の吟味

あらかじめ定められた審査基準に基づき、各審査委員が 5 項目の評点をつけ、審査意見を付記した。それに基づいて意見交換を行った。

1. 歯科衛生学科学生を対象に喫煙状況と歯肉炎症所見、毛細血管顕微鏡を用いた歯肉血流動態を調査する研究。口腔内所見と歯肉血流動態の関連を検討し、それらに加熱式タバコを含めた喫煙状況がどの程度影響しているかを検討することには意義がある。ただし毛細血管血流速度は喫煙以外の摂食行動や口腔ケア、その他の習慣、体質等の様々な要因の影響を受けられるのでそれらへの考慮が必要と思われる。

2. タバコ吸い殻のポイ捨て問題を環境問題、SDGs と関連付けてポイ捨ての実態と行政等の取り組みについて調査し、他団体と協働してタバコ吸い殻の不法投棄問題を広く周知、啓発するというタバココントロール活動。タバコ問題と SDGs や環境問題との関わりについての啓発が期待でき、喫煙所設置がタバコのポイ捨て減少に効果がないことを実証できる可能性がある。ただし行政や関係団体との十分な事前協議や共同作業が必要と思われる。

3. 歯科衛生学科学生を対象に加熱式タバコに対する意識と KTSND を質問紙により調査し、加熱式タバコを含むタバコ使用状況との関連を検討するという研究。歯科衛生士を目指す学生に対する喫煙実態や意識の調査および、禁煙支援プログラムの作成については意義がある。ただし質問項目の内容や統計処理方法については吟味が必要と思われる。

3) 助成金額の検討・決定

事業に対する助成の基本的な考え方として、まさこ基金は全国のタバコフリーの仲間からの寄付で成り立っている基金であり、応募された事業をよりよい研究・活動にするために適切な助言を行なうことを NPO は負託されている。一方で、助成金額については不適當と思われる経費は除き、できるだけ申請どおり助成することで応募者の研究・活動意欲を高める可能性があるとの意見があり、他の委員も賛同した。

1. 打合せのための旅費、英文校正費も含め全額補助をすることで委員の意見の一致を得た。
2. 事業経費については具体的で、算定根拠も妥当と思われるので、申請どおりの助成金額で委員の意見が一致した。
3. 事業経費については修正申請で具体的かつ適切な経費が計上されているので申請どおりの助成金額で委員の意見が一致した。

以上より、助成金額（円）は以下のとおりとすることをまさこ基金助成審査会として提案する。

1. 100,000	2. 67,600	3. 100,000	合計金額	267,600
------------	-----------	------------	------	---------